

2021 年度事業報告

1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

1)事業の推進<税抜き>

- ①今年度もオミクロンコロナ感染が拡大し、消費が落ち込む中、感染防止に注意しながら 3 店舗を運営しました。厳しい状況でしたが、目標対比 99.2%となりました。
- ②ショップ事業からの支援金捻出が厳しいと予想されるため、フィリピンとかかわりのあるコーヒーとクッキーのフェアトレードの拡大を進めました。
- ③収益事業は 3 店舗ともども試行錯誤の日日でしたが、3 店舗の連携を図り、寄付品の 3 店舗循環を進めました。
- ④今までの 10 月だけのフードドライブでしたが、継続を希望する声もあり、今年度は 4 月から通年取り組み、地域の 2 団体に寄付をしました。
- ⑤コロナ感染防止のために、神奈川県補助金を利用して空気清浄機、サーモカメラなどを整備し、安心してショップ運営ができるよう、スタッフやボランティアのストレスを軽減しました。

(1) 中田店

実績 4,480,462 円 目標 4,245,000 円 達成率 105.5%

(昨年度 3,695,965 円、前年比 121.2%)

- ①4 月からワーカーズコレクティブ協会より就労準備支援として 1 人、また 9 月からは連携している共同の家プランから 1 人を就労準備支援として受け入れました。内 1 人は就活しながらボランティアとしてショップに関わってくれていました。
- ②パンツ・スカート 200 円は毎月開催することによりお客様に周知され、売上に繋がりました。
- ③1 か月のスケジュールを店内、A 看板に掲示して周知を図りました。
- ④今年度初めて、10 月に着物フェア、11 月にブランド食器フェアに取り組みました。好評だったため、次年度も継続していきたいと思います。
- ⑤中田商店街のスタンプラリーに初参加 (2/1~28) しました。大変好評でショップを周知する機会となりました。
- ⑥ボランティアさんが昨年 2 人、1 月に 2 人、3 月に 1 人増え、ショップが活気づきました。
- ⑦チャリティーショップの紹介映像に参加し、YOUTUB 配信され世界へアピールすることができました。

(2) 領家店

実績 4,169,952 円 目標 4,200,000 円 達成率 99.2%

(前年度 3,525,449 円 前年比 118.2%)

- ① 緊急事態宣言中でも営業の有無やセール問い合わせ電話が多く寄せられ、ショップの価値を再確認しました。
- ② フェアトレードや東北物産も順調に売れました。

- ③ 小物の陶器を利用した グリーンポットは、今年も 「店内に緑があると ホットするし、素敵ね」と好評でした。
- ④ 作業場の棚を小さい物に変え、スペースを広げ 安全且つ作業しやすくしました。又、椅子も安定した物にしました。
- ⑤ 提供品について、「お受けできない品」のリストを作成し、お客さまやボランティアに分かりやすく 貼り出しました。又、必要なお客さまには、手渡しできるようにしました。
- ⑥ 三角クジを年2回行い、楽しみながらお買い物をしてもらい次の来店へと繋げました。
- ⑦ 長期に休んでいたボランティア（2人）が活動を再開し、ショップ運営が活気づきました。

(3) 萩丸店

実績 3,876,058 円 目標 4,180,000 円 達成率 92.7%

(昨年度 2,914,166 円、前年比 133.0%)

- ① スタッフ不在のため、ボランティアで責任を持ってショップ運営をしました。
- ② 毎月フェアやイベントを工夫して行い、お客さまに楽しんでもらいました。
- ③ 着物フェアは初めての試みとして、和室（陽だまり）や作業スペースを使用して開催しました。
又、第1・第3・第5土曜日は常設している和もの（着物・帯・小物）を半額とし、リメイク材料として購入される方がいました。しかしながら、大量在庫のため暫く着物の寄付は中止といたしました。
- ④ 農産物（大豆、切り干し大根、にんにくなど）販売し、寄付につなげました。
- ⑤ 就労準備支援の研修生（1人）や共同の家プアンからボランティア（3人）、高校生のボランティア体験・引きこもりの若者の社会復帰のための研修（1人）など、それぞれに対応をしました。

2) ボランティアミーティングの開催

① 中田

3回開催しました。（5/17、7/26、12/6）

- ・コロナ禍、8～11名の参加があり、月次報告、ショップのイベント内容の確認と意見交換。
- ・感染対策（消毒、マスク着用、ゴム手袋着用）の重要性を再度確認しました。

② 領家

7/1 から 11 人 個別に行いました。

- ・4月～6月の活動 売り上げ状況、提供品について（処分に困る物は受けない事）
- 各種ファイバー、シフト、感染対策は気を引きしめて続けることなどを共有しました
- 12/7 大掃除の後 行いました。ダウンファイバー お受けできない品リストについて 共有しました

③ 萩丸

4回開催しました。（4/7、8/20、12/27、3/18）

- ・4月は今後のショップ運営について議論をしました（参加者15人）。
- ・8月は後半のイベントについて共有しました（参加者8人）

- ・12月はコロナ禍の中8・9人の参加があり、月次報告、イベント内容の確認やトラブル対策など意見交換をしました。
- ・3月は1年間の報告や次年度の企画など話し合いました。

【期間】 通年

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 事業総額 12,526,472 円 (目標額計 12,625,000 円 達成率 99.2%)

2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

- ①「地球のステージ」へ講師料と募金・寄付金計 10 万円を寄付しました。

桑山紀彦さんによる学習会でカンパを募り 10 万円を寄付しました。

- ②ウクライナの緊急支援に取り組みました。

ウクライナ国内や避難した人たちを支援する緊急募金に取り組み、当初から募金の反応が良く、市民の関心の高さが伺えました。支援先は検討した結果国際 NGO の ADRA に決定しました。現在も継続中です。

- ③申請のあった以下の団体について検討し、助成を決定しました。

*ジュマネット (30 万円) : インドアッサム州のマイノリティ支援事業

*緑の芽青年農業学校 (10 万円) : カンボジア「豊かで幸福なコミュニティの構築」

*地雷廃絶日本キャンペーン (5 万円) : ビルマ/ミャンマー・カヤー州における国内避難民と地雷犠牲者に対する緊急支援

【期間】 通年

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 カンボジア、インド、ミャンマーなどの社会的に立場の弱い市民たち

【事業高】 550,000 円

3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

1) キャンペーン事業

- ①貧困なくそうキャンペーン (世界の貧困について学ぶ)

例年通りに連携している NPO 法人共同の家プランに支援をしました。事前学習会を開催し、日本の貧困について分かりやすく説明した展示物を通して共感を高めました。

【期間】 10 月 1 日～30 日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 195,701 円

- ②愛のチョコ募金キャンペーン (放射能などを含めた核と子どもの影響について知る)

ジムネットの「愛のチョコ募金」に賛同しました。例年のイベントのため周知が図られ、また新規の購入者も見られました。

【期間】12月1日～2月10日

【場所】泉区内のWEショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】55,000円

③東日本震災キャンペーン（震災・津波・原発被害を知る）

今年度も放射能汚染による子どもの健康を危惧し、NPO法人3.11甲状腺子ども基金に寄付をしました。3店舗独自作成したアピールを掲示しました。

また、東日本の物産を支援するために、広報の一つとして「うまいもん投票」を実施し、関心を高めました。

【期間】3月1日～25日

【場所】泉区内のWEショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】300,000円

2)共育事業

コロナ感染の状況を見ながら、報告会などを開催しました。

①コロナのワクチン接種が進み、漠然と不安を抱えている人が多くみられるため、地球のステージの桑山紀彦さんによる「コロナの時代をどう生きるか」をテーマに講演会をしました。

活発な意見交換ができ、有意義な企画でした。（7/10 参加者24人）

②10月の貧困なくそうキャンペーンの事前学習会として、NPO法人共同の家プランについて学習会を開催しました（9/13 参加者10人）

③JVCのラオス事業について理解を深めるための学習会を開催しました。

（12/20 参加者10人）

④支援先のジュマネットの事業報告会をオンラインで開催し、次年度の事業について理解を深めました。他の地域にも声をかけ13人の参加がありました。（3/4 参加者8人）

【期間】4月1日～3月31日

【場所】泉区内のWEショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】57,689円

3)ネットワーク事業（招聘事業）

今年度もコロナの感染拡大のために招聘や交流事業の実施はできませんでした。

4)フェアトレード事業

①ジンジャーパウダーと東日本生産者支援の物産を年間通して販売しました。

(ジンジャーパウダー82,996 円、東日本生産者支援 353,528 円)

②ジンジャークッキーとフィリピンコーヒーの新規販売

ショップ事業から支援金捻出が厳しくなることが予想されるので、フェアトレードの物品を拡大しました。長年フィリピンと関わりのあるいずみの特性を生かして、コーヒーとジンジャークッキーを扱い、広報などでアピールしました。コーヒーは焙煎をしている旭区の百屋を訪問して交流をしました。(ジンジャークッキー40,974 円、コーヒー38,870 円)

③タイやミャンマーの女性たちの手工芸品

クリスマスの季節限定でアクト for チルドレンの手工芸品を販売しました。目新しいために、前回よりも販売実績も上回り、関心も高まりました。(42,140 円)

④長年支援をしてきた J V Cカンボジアの事業で繋がった現地女性の手作り籠を販売しました。(5,909 円)

【期間】 4 月 1 日～3 月 31 日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 564,417 円

5)ネットワークを広げて、問題解決を図りました。

他の地域 NPO が主催する学習会などに参加しました。

- ・ NPO 法人地雷廃絶日本キャンペーン報告会 (旭主催)
- ・ 子どもを見守り、育てる地域オンライン講習会 (港南、青葉主催)
- ・ たらちねオンライン報告会 (青葉)
- ・ 希望へのいのち上映会とお話会 (青葉)

4. 事業の広報普及を図る事業

1)広報紙やショップチラシを充実させ、発行しました。

広報製作者をスタッフ契約して広報の充実を図りました。途中でスタッフ契約は解約しましたが、メンバーが広報に関わることができ、チラシや広報紙などが大変充実しました。機関紙は、9 月、2 月発行しました。(広報宣伝費 31,517 円)

2)HP を充実させました。

広報活動が重要のため、HP にリメイク作品や広報誌のバックナンバーなどのバーナーを追加して充実を図りました。また、WE21 いずみの活動や各ショップの情報やイベントを随時更新しました。(HP 委託費 125,000 円)

【期間】 4 月 1 日～3 月 31 日

【場所】 泉区内

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 156,517 円